

南部小だより

令和6年9月6日発行

備えの大切さ

校長 鏡味志寿夫

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。台風10号の影響で、夏休み最後の1週間は落ち着かないものとなってしまいました。それでも、普段より自分の時間がたくさんあった夏休みです。子どもたちは、どのような時間を過ごしたのでしょうか。思い出に残る貴重な経験をすることができているといいなと思います。

さて、私の今年の夏休みは、オリンピック、野外教育活動、地震、台風で過ぎていきました。

オリンピックでは、出場した選手の競技後の姿やコメントに心を動かされました。満足のいく結果を残せた選手、予想外の結果となり、悔しくて涙を流した選手などさまざまでした。どのような結果であったとしても出場した全ての選手は全力を尽くしていました。また、出場に備えて努力を重ねてきたはずで、自分にできることは全て行ってきたからこそ、心に響くコメントが出せるのだろうなと思いました。

この夏休み中に、初めて南海トラフ地震臨時情報として巨大地震注意が出されました。いつか発生するだろうとされている巨大地震をより身近に感じました。また、台風10号は進路の予想が定まらず、いつどこに進んでいくのかははっきりしないままの日が続きました。どのような状況になっても、落ち着いて対応できるよう日頃からしっかりと備えておかないといけないと改めて考えさせられました。

自然災害に対する不安はありますが、備えをしっかりと確認し、この2学期も南部っ子全員が楽しく安全に生活をし、輝いている姿をたくさん見せてくれることを期待しています。

野外教育活動

8月7日、8日に5年生が野外教育活動を実施しました。

「思い出に残る楽しいキャンプを！65人で！」というスローガンのもと、愛知県野外教育センターで二日間を過ごしました。天候にも恵まれ、予定通りに活動することができました。

野外炊飯では、米係もカレー係もとても手際よく作業し、予定より早い時間でカレーライスを作り上げることができました。味も最高においしかったです。後片付けにもしっかりと取り組むことができ、感心しました。キャンプファイヤーは、草木小学校の5年生と合同で行われました。初めての試みでしたが、南部小・草木小の5年生の力で思い出に残るキャンプファイヤーとなりました。光の舞は、美しい光の軌跡が描かれ、火文字は、「なんぶの炎」と美しく浮かび上がるなど感動的な時間となりました。



思い出に残る2日間となりましたが、それは5年生の動きが素晴らしかったからです。65人全員で成功させようという思いを感じる野外教育活動でした。この経験を今後の活動に生かしてほしいと思います。学校から離れ、自然の中で過ごした時間は5年生の心に大きな思い出として残ったことと思います。

無事に活動を終えることができたのも、5年生、保護者のみなさま、野外教育センターの方々など、とても多くの人の協力があったからこそだと思います。深く感謝申し上げます。

<学校の様子>

【始業式】



【起震車体験】



【授業の様子】



【お知らせ】保護者、地域の皆様、ご予約いただき、子どもたちの様子をご覧ください。

10月19日(土) 運動会 (8:35~12:00頃) ※弁当持参になります。21日(月)は代休です。

予備日は、22日(火)、23日(水)になり、給食があります。

11月1日(金) 学校公開日 (9:40~12:25) ※2時間目から4時間目が公開授業です。